

論集

第五卷
第二號

目次

上代假名遣ひから見た邪馬臺國の擬定

大森 志 郎 [1]

ジョン・デューイの教育の目的について

名 倉 英 三 郎 [19]

カトリシズムと近代國際關係

——舊教諸國の對外關係とカトリック——

柳 父 德 太 郎 [33]

植民類型を中心に——

シユプランガーのゲーテ研究(Ⅰ)

村 田 豐 文 -119-

Pragmatist としての Emerson

——彼の思想における二元性の問題——

小 泉 一 郎 -97-

文化變容現象として見た共通語化の問題

——パーソナリティ・テストを通して——

森 岡 健 二 -65-

鹽素酸鹽の電解酸化による過鹽素酸鹽生成の機構に関する研究

青 柳 茂 -1-